

医療法人徳洲会 神戸徳洲会病院  
改善計画の各項目に係る改善の実施状況  
2024 年 6 月～2024 年 11 月まとめ

この度、医療法人徳洲会 神戸徳洲会病院（以下、当院）は、2023 年 7 月、循環器内科カテーテル治療・検査において、複数件の死亡事案が発生したとの外部通報を受け、保健所の立ち入り調査後も、医療安全上問題となる事象が複数発生し、それらについて適切に対応ができていなかったことから、神戸市より医療法人徳洲会に対して「改善措置命令」が出されました。当院がこれまで「患者安全」を十分に重視して病院運営を行ってこなかったことが結果であり、深く反省しております。我々はこのような事態を招いた責任を重く受け止め、患者様とご家族様、そして地域社会の皆様にご迷惑とご心配をおかけしたことを心より深くお詫び申し上げます。

このような事態を招いた原因を真摯に反省し、調査と分析を行い、根本原因を究明するとともに、病院として様々な改善や改革に取り組んでまいりました。神戸徳洲会病院が患者様、ご家族様、地域の皆様にとって安全安心な病院として再生するために、これまで実施してきました「医療法人徳洲会 神戸徳洲会病院 改善計画の各項目に係る改善の実施状況」を公表させていただきました。

本書は、取り組みの各項目について、実施状況を 2024 年 11 月 30 日時点で取り纏めたものです。

## I 医療安全文化の醸成

### 1) 役職者の「医療安全管理者養成研修」の実施

病院幹部含めて、全部署の役職者以上に病院機能機構による医療安全管理者養成研修のプログラム受講を必須とし、実施している。

9月までに35時間のE-ラーニングを終了し、11月に【チーム STEPPS】集合研修を実施した。参加人数は病院長を含め、各部署の所属長や役職者を含め45名参加しました。



第14回徳洲会グループ  
医療安全管理者養成研修 集合研修会

日 時：2024年11月13日(水) 10:15～17:00  
会 場：新館19Fエゾ館第3会議室(パティオホール)

|             |                                                             |
|-------------|-------------------------------------------------------------|
| 10:15～10:25 | 開場・受付                                                       |
| 10:25～10:30 | 開会式                                                         |
| 10:30～10:35 | 「徳洲会グループ医療安全管理者の役割」<br>講師：佐藤健司氏(病院長)                        |
| 10:35～10:40 | 医療安全管理者 謝辞(山本 浩司氏) 看護部長 青木麻由氏                               |
| 10:40～12:10 | 「チームSTEPPS」<br>講師：徳洲会徳洲会病院 医療安全管理センター 徳島県立中央病院 看護部長 佐々木 貴子氏 |
| 12:10～12:15 | 昼食休憩                                                        |
| 12:15～14:15 | 「チームSTEPPS」<br>講師：徳洲会徳洲会病院 医療安全管理センター 徳島県立中央病院 看護部長 佐々木 貴子氏 |
| 14:15～17:00 | 閉会式・退場                                                      |



### 2) 医師に対する「医療安全研修」

診療部の医師については、月1回の医療安全研修を実施している。

### 3) 全職員に対する院内医療安全プログラムの受講

院内全職員に対して、医療安全研修プログラム（前期・後期）を構築し、実施している。

前期：11 講義 2 時間 後期：9 月以降開始予定

後期研修を11月より開始している。13 講義：3 時間

### ④4) 「医療安全管理マニュアル」の周知と理解度確認

院内医療安全管理マニュアルの内容を見直し、全部署に配布、回覧し、再周知を行った。

周知されているかの評価として、院内ラウンドを実施し、口頭試問を行い、評価している。

### 5) インシデントレポート件数による評価

インシデントレポートの分析手順を明確にし、インシデントレポートの分析結果とそれに基づく目標を各部署のリスクマネージャー中心に進めて、医療安全業務改善計画書を作成している。

### 6) 医療安全対策室・リスクマネージャーへの研修

外部病院の医療安全管理者を講師として招聘し、院内リスクマネージャーに対して PmSHELL 研修を実施した。医療安全対策室メンバーについては、ImSAFER 分析の外部研修を実施した。

PmSHELL 分析研修



## ImSAFER 研修資料



### 7) コンプライアンスホットラインの周知と活用

法人内コンプライアンスホットラインの窓口を再度、院内掲示及び電子カルテ内イントラネットにて周知を行った。また本部職員による全職員を対象としたコンプライアンスホットライン研修を実施しました。

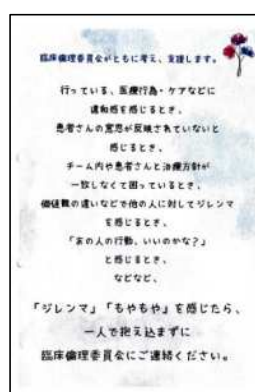


### 8) 法人本部による医療安全体制状況の確認

4月24日、5月20日、5月29日、5月31日、6月17日の合計5日間、医療安全部門、看護部門、医事部門の法人本部による訪問監査を実施しました。また法人本部による医療安全体制状況の訪問指導は継続して実施しており、7月23日、8月22日、10月30日、10月31日、11月5日に訪問監査を実施しています。

### 9) 臨床倫理チームの設立と院内体制の整備

外部委員を含めた医の倫理委員会の体制を見直し、同委員会が管理する「臨床倫理チーム」が院内の倫理的問題に対する早期介入が出来る体制を構築しました。特に、同チームがプロジェクトチームのカンファレンスに積極的に参加し、倫理的問題がないかの抽出を行い、また治療前においても医療従事者からの倫理的判断に迷う症例についても迅速にチームとして介入する体制としました。



臨床倫理チームでは、院内での倫理的問題に対して協議が必要な場合に、コンサルテーション・ミーティングを開催します。主治医・医療ケアチームとともに、患者さんにとっての最善を探索しながら倫理カンファレンスを行います。

また、定例の臨床倫理チーム会議では実施したコンサルテーションの振り返りや経過についてフォローします。院内の指針作成や職員研修についても取り組んでいます。



臨床倫理チームによるカンファレンスの様子

9月27日に「医療倫理について」の院内勉強会を関西医科大学の匿名教授を招き全職員対象に実施しました。

当日参加できなかった参加者に対しては、後日eラーニングでの受講を行い、全職員に対して医療倫理についての認識の共有を行いました。



## 10) 診療録の研修会の実施

医療訴訟上の診療録の位置づけがいかに重要であるか外部の専門家を招き講義していただきました。

講義に参加できなかった職員には後日、eラーニングにて配信を行い、情報の共有を行いました。



## 11) 病院長による各診療科面談

2 か月毎に各診療科部長と面談を実施し、診療科の指針・IC 同意書使用状況・カンファレンスの実施状況・診療科の指針などについて確認を行っております。

また、新規で行う手技・治療に関しては診療プロジェクトを立ち上げ他職種で協議したうえで実施することになっています。

## II 透明性ある医療の提供

### 1) 診療録記載に関する研修会の実施

7 月 1 日に診療情報に関する専門家として、外部講師を招聘し、全職員対象に研修会を実施しました。

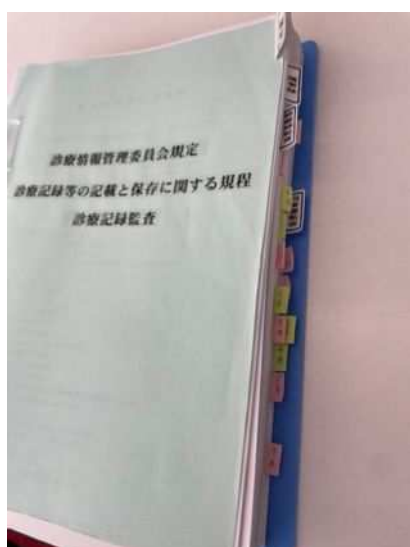
7 月 1 日は対面での開催を行い、当日参加できなかった職員に対しては e ラーニングの受講を行い、全職員に対して、診療録記載の重要性について認識の共有を行いました。



### 2) 診療情報管理委員会、看護部記録委員会による記録監査

診療情報管理委員会と看護記録委員会の規定、指針の見直しを行いました。

診療情報管理委員会、看護記録委員会による診療録の量的・質的監査を実施しています。





### 3) 説明・同意書の統一管理・インフォームドコンセント委員会の開催

患者様、ご家族様への説明が徹底できるように院内で使用している説明・同意書を全て見直しました。

今後は説明同意書の統一管理と遵守の徹底を組織的に実施します。

### 内視鏡的胃粘膜仮想剥離術説明書資料（一部抜粋）

10 同意書

内視鏡的胃粘膜仮想剥離術(胃ESD)説明書

病名・治療法が不明なままに手術を受けることは、外科手術と同様にリスクがあります。手術を受ける前に、医師から説明を受け、手術を受けるかどうかを判断する必要があります。

1. 手術の目的と意義

胃がんの発生率が増加していることが知られており、早期発見・早期治療が重要です。胃ESDは、早期胃癌の根治的治療法の一つとして期待されています。

2. 手術の方法

胃ESDは、内視鏡を用いて胃粘膜を切除する手術です。手術は麻酔下で行われ、手術時間は約1時間程度です。

3. 手術のリスク

胃ESDは、出血、穿孔、狭窄などのリスクがあります。また、手術後には痛みや腫れなどの症状が現れることがあります。

4. 手術後の経過観察

手術後は、定期的な検診を受ける必要があります。また、手術後の生活習慣の改善も重要です。

5. 手術の費用

手術の費用は、保険適用となります。ただし、手術前後の検査や入院費などは別途必要となります。

6. 手術の同意

以上を十分に理解した上で、手術を受けることに同意します。

医師 〇〇〇〇 氏

患者 〇〇〇〇 氏

10 同意書

内視鏡的胃粘膜仮想剥離術(胃ESD)説明書

病名・治療法が不明なままに手術を受けることは、外科手術と同様にリスクがあります。手術を受ける前に、医師から説明を受け、手術を受けるかどうかを判断する必要があります。

1. 手術の目的と意義

胃がんの発生率が増加していることが知られており、早期発見・早期治療が重要です。胃ESDは、早期胃癌の根治的治療法の一つとして期待されています。

2. 手術の方法

胃ESDは、内視鏡を用いて胃粘膜を切除する手術です。手術は麻酔下で行われ、手術時間は約1時間程度です。

3. 手術のリスク

胃ESDは、出血、穿孔、狭窄などのリスクがあります。また、手術後には痛みや腫れなどの症状が現れることがあります。

4. 手術後の経過観察

手術後は、定期的な検診を受ける必要があります。また、手術後の生活習慣の改善も重要です。

5. 手術の費用

手術の費用は、保険適用となります。ただし、手術前後の検査や入院費などは別途必要となります。

6. 手術の同意

以上を十分に理解した上で、手術を受けることに同意します。

医師 〇〇〇〇 氏

患者 〇〇〇〇 氏

10 同意書

内視鏡的胃粘膜仮想剥離術(胃ESD)説明書

病名・治療法が不明なままに手術を受けることは、外科手術と同様にリスクがあります。手術を受ける前に、医師から説明を受け、手術を受けるかどうかを判断する必要があります。

1. 手術の目的と意義

胃がんの発生率が増加していることが知られており、早期発見・早期治療が重要です。胃ESDは、早期胃癌の根治的治療法の一つとして期待されています。

2. 手術の方法

胃ESDは、内視鏡を用いて胃粘膜を切除する手術です。手術は麻酔下で行われ、手術時間は約1時間程度です。

3. 手術のリスク

胃ESDは、出血、穿孔、狭窄などのリスクがあります。また、手術後には痛みや腫れなどの症状が現れることがあります。

4. 手術後の経過観察

手術後は、定期的な検診を受ける必要があります。また、手術後の生活習慣の改善も重要です。

5. 手術の費用

手術の費用は、保険適用となります。ただし、手術前後の検査や入院費などは別途必要となります。

6. 手術の同意

以上を十分に理解した上で、手術を受けることに同意します。

医師 〇〇〇〇 氏

患者 〇〇〇〇 氏

9月24日に1回目となるインフォームドコンセント委員会を開催しました。

外部の専門家にも出席いただき、病院における医師・看護師・薬剤師・その他の医療従事者が行うインフォームドコンセントの適切な実施の確保を実施していきます。



### 4) 患者満足度アンケートの実施

9月より患者満足度アンケートを実施しております。アンケートを実施することで患者様が病院に抱いた印象や病院の対応について意見や満足度を調査することで、病院の改善点が明確化し今後の病院運営に活かしていきます。



### Ⅲ 救急医療・診療体制の充実

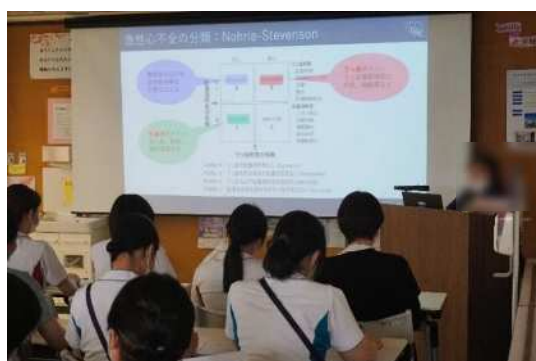
#### 1) 各診療科医師による院内研修会の実施

各診療科医師による疾患別勉強会を実施しました。各疾患の病態や治療方針など多職種が参加し、情報を共有しました。

#### 院内研修会①) 消化器内科チームによる内視鏡診療について



#### 院内研修会②) 循環器内科チームによる心不全診療について





## 2) 診療科カンファレンス

各診療科で入院している患者様の治療計画や治療経過、治療ゴールなど、診療部医師のみでなく、多職種スタッフが参加し、患者情報を共有しています。これにより、多角的な視点や患者安全上の懸念事項を多職種間で共有し、対応策を検討できる場としています。

### 循環器内科カンファレンス



### 消化器内科カンファレンス



### 外科カンファレンス



## 3) 入院患者・診療情報の共有体制

新入院患者の治療計画等、多職種間での情報共有のカンファレンスを開始しています。

|                                             |           |                                              |        |                                          |  |
|---------------------------------------------|-----------|----------------------------------------------|--------|------------------------------------------|--|
| 医療法人徳洲会 神戸徳洲会病院                             |           |                                              |        | Kobe Tokushukai Hospital                 |  |
| 文書名：<br><br>多職種カンファレンス体制                    |           |                                              |        | 文書番号<br>KT01- ー                          |  |
| 制定日                                         | 最終改定日     | 次回改定予定                                       | バージョン  | 承認者                                      |  |
| 2024/6/18                                   | 2024/6/20 | 2025/6/1                                     | Ver1.0 | 徳洲会 徳洲会                                  |  |
| 作成者：創署名・氏名<br>徳洲会 徳洲会<br>徳洲会 徳洲会<br>徳洲会 徳洲会 |           | 文書管理部署/委員会：<br>徳洲会 徳洲会<br>徳洲会 徳洲会<br>徳洲会 徳洲会 |        | 文書管理責任者<br>徳洲会 徳洲会<br>徳洲会 徳洲会<br>徳洲会 徳洲会 |  |
| 改定履歴                                        |           |                                              |        |                                          |  |
| 日付                                          | バージョン     | 改定内容                                         |        | 作成者                                      |  |
| 2024/6                                      | Ver1.0    | 初版                                           |        | 徳洲会 徳洲会<br>徳洲会 徳洲会                       |  |



#### 4) 他科対診体制

他科対診体制の指針を作成し、院内の方針を明確にいたしました。

|                 |          |            |        |                          |  |
|-----------------|----------|------------|--------|--------------------------|--|
| 医療法人徳洲会 神戸徳洲会病院 |          |            |        | Kobe Tokuchukai Hospital |  |
| 文書名：            |          |            |        | 文書番号                     |  |
| 診療科対診体制指針       |          |            |        | KTH-                     |  |
| 制定日             | 最終改定日    | 次回改定予定     | バージョン  | 承認者                      |  |
| 2024年           | 2024/7/1 | 2025/4/1   | Ver1.0 |                          |  |
| 作成者：監修者：氏名      |          | 文書管理部署/委員会 |        | 文書管理責任者                  |  |
|                 |          |            |        |                          |  |
| 改定履歴            |          |            |        |                          |  |
| 日付              | バージョン    | 改定内容       |        | 作成者                      |  |
| 2024年           | Ver1.0   | 初版         |        |                          |  |

#### 5) 各診療科シミュレーションの実施

診療科のシミュレーションを多職種行う事で、問題点などの抽出を行い、患者の安心・安全につなげていきます。



消化器内科チームによるシミュレーション

循環器内科チームによるシミュレーション



## 6) TCLS 開催

TCLS とは徳洲会グループが開催している日本救急医学会認定の 2 次救命処置講習のことで、院内・院外に関わらず効果的な救命処置・治療の実施を推進することで、救急患者の救命率及び社会復帰率の向上に資することを目的に開催しております。8 月 3 日～4 日、8 月 24 日～25 日の 4 日間で合計 51 名の職員（医師、看護師、救急救命士、臨床工学技士、理学療法士、診療放射線技師）がコース修了となりました。



## IV 第三者機関による評価

### 1) 日本病院機能評価機構（第三者機関評価）受害のためのヒアリング

日本病院機能評価機構による第三者評価のための準備を開始いたしました。

徳洲会グループ内の評価者による支援をいただき、病院機能全体の見直しを行っています。

支援訪問時のラウンド写真



## 2) 第三者における医療安全体制評価の実施

法人外の医療安全の専門家（関西医科大学教授）を招聘し、当院の医療安全体制の第三者評価を行っていただきました。今後も継続して、医療安全体制の外部評価を実施していきます。



## V 神戸徳洲会病院 住民説明会

当院における医療安全上の問題に関して、地域住民の皆様にご多大なご心配とご迷惑をおかけしました。地域住民の皆様へ直接今回の件を説明する説明会を開催しております。

